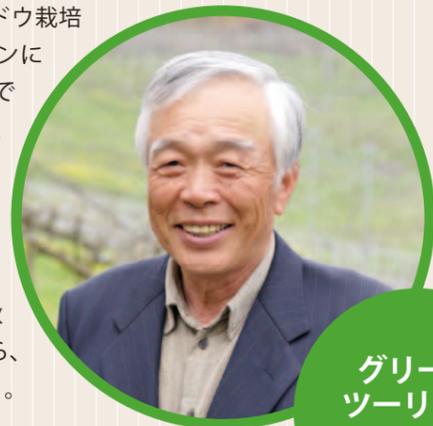




ぶらり
うちこ

「お帰り」の声が聞こえます うちこツーリズムを訪ねて

心温まるもてなしと、どこか懐かしさ漂う素朴な宿。訪れてみれば、うちこツーリズムを通じて町の魅力を伝える素敵な人々の笑顔が出迎えてくれました。



グリーン
ツーリズム
里山

「里山」オーナーの藤利通^{としみち}さんは、ブドウ栽培50年以上のベテラン。数年前からワインに関心を持ち、地元で自生する山ブドウでワインを造ろうと「果実酒特区」の認定を取得。昨年植樹した30本の木は予想以上の収穫があり、成分分析も上々の数値で、早速今春、ワイン造りを共に楽しむ仲間を全国から募って「内子ワイン夢クラブ」を発足。早ければこの秋にもブドウ踏みを行う予定というから、「内子ワイン」の商品化が待ち遠しい限り。

ヨーロッパまで研修に行ったという藤利通さん。「内子ワインを町の新たな特産品に」と意気込む



「ラベルデザインは公募を予定している」というワインボトルの試作品



山ブドウは実るとこんな感じ。今年の収穫も楽しみ



やまがら

グリーン
ツーリズムの宿
やまがら



コケ玉や流木を使ったアート製作、まんじゅう、おこわなど伝統加工食品作り、野鳥とのふれあいといった、山里ならではの体験ができる「やまがら」。最近ワサビの高地栽培や山菜おこわの出張販売にも力を入れているという大久保ヒロミさんは、今年「農林漁家民宿おかあさん100選」に選ばれた。小田地区の魅力を知り尽くしたオーナー直伝のモノ作りや体験には、訪れる人の毎日を豊かにするヒントがいっぱいあるに違いない。

「山に入るとほっとする」と大久保さん。30年以上前から趣味のカメラで小田の自然を撮り続けてきた



拾った流木や山草を利用したアート作品



山菜おこわの体験調理を指導中



風情ある外観が目を引く



安らぎに満ちた居間や囲炉裏端は宿泊客の憩いの場となっている

石畳の宿



左から高藤^{ひさこ}久子さん、政岡^{せいこう}敬子さん、瀬戸^{せと}トモ子さん。いずれも宿を運営する「さくらの会」メンバー。政岡さんは「宿のおかげで多くの人と出会い、地域の良さを再発見できた」と言う



いしだたみ
石畳の宿

石畳地区の古い民家を移築した体験宿泊施設。のどかな風景にたたずむこの宿の魅力は、囲炉裏や廻り縁のある座敷、屋根裏を改修した客室など、昔の田舎家の雰囲気満喫できること。もうひとつは山菜やそばなど内子産食材を使い、地域の伝統献立を生かした手料理の数々とか。調理から接客まで行う地元のお母さんたちとの、素朴なふれあいがあるのもうれしい。故郷への深い愛着が生んだ温かいもてなしの心を、じっくり味わいたいもの。

食事やイベントを楽しむ大広間は、山小屋風の素敵な空間。2階はアートギャラリーになっている



世代を超えて盛り上がる音楽会。気ままに開かれるというイベントは、こんなふうに宿泊客や地域住民も巻き込んでいつも賑やかだ

木立に囲まれたサイロ風建物が印象的なゲストハウス。ここでゆったりとした時間と自家製野菜中心の手料理でもてなすのが、森長^{もりなが}禮子^{れいこ}さん流。また、近くの田畑で農作業体験ができるほか、時折開かれるミニコンサートや朗読会などのイベントでは飛び入り参加もOK。オーナー夫妻と気楽に語らうもよし、反対に何にもせずボーッとすることもよし、というおおらかさが多くの“こくりこ”ファンを惹きつけるようだ。



ファーム・イン
RAUM
古久里来